

# 女性からのひとこと

(株) テクノ長谷  
高橋 みゆき



私は柴田町（宮城県柴田郡）に住んでおります。小さな町ですが、この町には名所と言われる桜をはじめ、農村部には地域資源（自然、景観、歴史、伝統文化など）がたくさんあります。これから、この町の名所等を紹介したいと思います。

柴田町は宮城県の仙南にあり、伊達騒動で知られる原田甲斐と名門柴田家の城下町として栄えた「船岡」と、奥州街道の宿場町として栄えた「槻木」の2つの町が合併して誕生した町です。

仙台市から約25km南に位置し、白石川が町の中心部を流れ、町の東南部を流れる阿武隈川と合流して太平洋に注いでいます。気候も温暖で、四季を通して過ごしやすいところです。



桜といえば、日本さくら名所100選に選ばれた、「白石川堤一目千本桜」と「船岡城址公園」が、東北有数の桜の名所として知られています。毎年4月上旬から下旬にかけて「しばた桜まつり」が行われ、大勢の方が花見に訪れます。

「白石川堤一目千本桜」は、柴田町船岡土手内から、隣町の大河原金ヶ瀬にかけて、約8kmに渡り、染井吉野の桜が並んでいます。また、ここの白石川に架かる「さくら歩道橋」からの一目千本桜と船岡城址公園の眺望が新名所となっています。蔵王をバックにした白石川と桜

の写真は、よく雑誌などにもとりあげられています。桜まつりが行われている期間中、電車は徐行運転をし、車窓から桜を眺めることもできます。私も毎年、白石川堤の一目千本桜を見に行っていますが、土手を歩いていると、子供の頃、いつもこの土手や川原で遊んでいたことが思い出されます。川でメダカをとったり、土筆や草花を摘んだりしていました。夏は花火大会も行われていました。

「船岡城址公園」は、船岡駅より歩いて15分位のところにあります。こちらにも数多くの染井吉野桜やしだれ桜があり、満開時には、山全体が桜色に染まります。山頂へは公園の駐車場からスロープカーが桜のトンネルの中を案内してくれます。



山頂には、船岡平和観音と昭和45年NHK大河ドラマ「樅の木は残った」で有名になった樅の木があり、柴田町の町並みが一望でき、蔵王の山々や太平洋の眺望を楽しむことができます。ドラマがテレビで放映された時は、船岡城址公園に残るゆかりの樅の木を一目見ようと、多くの人が訪れました。

その他に、「太陽の村」は、標高130mの丘陵にあり、こちらも蔵王と太平洋を望むことができ、町並みを見下ろしながら静かに花見を楽しむのに最適な場所

です。開花は船岡城址公園より5日ほど遅くなります。

「陸上自衛隊船岡駐屯地」も隠れた桜の名所になっており、毎年桜まつりが開催されます。一般にも開放され、広い芝生で花見が楽しめます。

柴田町役場の近くには、「麴屋コレクション」があります。山本周五郎の小説「樅の木は残った」に出てくる麴屋又左エ門の家で、伊達家・原田家及び柴田家に仕えた御用商人であり、伊達家から流出した美術工芸品を買い止めたものが多数展示されています。また、江戸・大阪・京都に出向いた時に調達した貴重な武器、工芸品、生活用具をコレクションした民間博物館として一般公開しています。

秋になると、「しばたの菊」として菊の生産も盛んであることから、数年前までは「菊人形まつり」が行われており、毎年大勢の方が訪れていました。現在は秋の歳時として、大菊花展が開催されています。冬は、「雨乞のユズ」が特産品となっております。ユズといえば暖かい南国で栽培されているイメージがありますが、ここでは、入間田雨乞地区の南斜面で日当たりのいい山に栽培されています。樹齢何百年という老木をはじめ、30～40年ほど前に植樹したものも含めると約300本あります。このユズは、皮が厚く香りが良いことで定評があり、辺り一目に爽やかな香りを漂わせています。

雨乞地区には、国の天然記念物（植物）に指定されている「雨乞のイチヨウ」という巨木があります。このイチヨウは、推定樹齢600年、樹高31m、幹回11mの雄株です。案内板には、「乳柱の発達著しく、長さ4m直径50cmに達するものをはじめ、16本の乳柱を数える。樹勢が旺盛で樹容も美しく、イチヨウの巨

樹として全国屈指のものであると記されています。

槻木富沢地区には、県指定史跡となっている「富沢磨崖仏群」があります。鎌倉時代に彫られた阿弥陀如来裸大仏がお堂の中にあり、像高は2.4m。像の側面には嘉元4年（1306年）などの刻字がみられます。お堂の周囲には六地藏、虚空蔵菩薩などの石仏があります。

12月に入ると、白石川のあちらこちらに白鳥なども飛来してきます。また、船岡・槻木駅前では、毎冬、けやきやメタセコイア（槻木駅のシンボルの木）の木にイルミネーションが飾られています。

最近、柴田町では、農村部の神社仏閣や名所旧跡を巡るハイキングなども行われており、ふるさと柴田再発見ができ大変好評のようです。私も今回、町の情報を収集しながら、新たな柴田町を発見することができました。

ぜひ、こちらに来られた際には、桜をはじめ、さまざまな名所等も訪れていただきたいと思います。

